

注3

大学番号：私075

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

学習院大学 文学部 教育学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人学習院
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

電話番号 03-3986-0221

（夜間） 03-3986-0225

F A X 03-5992-9238

e-mail somu-off@gakushuin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

文学部

<教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 学習院

(2) 大学名

学習院大学

(3) 大学の位置

〒171-8588
東京都豊島区目白1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハタノ ヨシオ) 波多野 敬雄 (平成18年6月1日)	(ナイトウ マサタケ) 内藤 政武 (平成26年10月1日)	(27) 改選により
学長	(フクイ ノリヒコ) 福井 憲彦 (平成19年11月11日)	(イノウエ トシカズ) 井上 寿一 (平成26年4月1日)	(26) 改選により
学部長	(アリカワ ハルオ) 有川 治男 (平成25年4月1日)		設置申請の時点では、 神田龍身(カンダ タツミ) であったが、平成25年4月を もって改選した (25)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学部 教育学科 学士(教育学)	4年	50人	— 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	50人 (-) [-]	—人	50人 (-) [-]	—人	50人 () []	—人	0.99倍	一倍	
志願者数	() []	() []	839 (-) [-]	—	737 (-) [-]	—	662 (-) [-]	—			
受験者数	() []	() []	813 (-) [-]	—	701 (-) [-]	—	640 (-) [-]	—			
合格者数	() []	() []	149 (-) [-]	—	173 (-) [-]	—	151 (-) [-]	—			
B 入学者数	() []	() []	49 (-) [-]	—	53 (-) [-]	—	47 (-) [-]	—			
入学定員超過率 B/A			0.98		1.06		0.94				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[-] (-) 49	[-] (-) -	[-] (-) 53	[-] (-)	[-] (-) 47	[-] (-)	
2年次			[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 49	[-] (-)	[-] (-) 53	[-] (-)	
3年次					[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) 48	[-] (-)	
4年次							[-] (-) -	[-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[-] (-) 49	[-] (-)	[-] (-) 102	[-] (-)	[-] (-) 148	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	49人	1人	平成25年度	人	人	他大学受験(1人)	0.0%
			平成26年度	1人	0人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	53人	0人	平成26年度	人	人		0%
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	47人	0人	平成27年度	人	人		0%
合計	149人	1人					0.0%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<文学部 教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目 (教育基幹科目)	初等教育学	1後	2			1						川口幸宏教授が平成26年3月31日に停年退職し、三浦芳雄特任教授が着任したため、担当者1名を変更(平成26年4月)
	基礎演習	1前	2			7		1				
	教育創造演習	3通	4			10	1	1				
	卒業論文	4通	12			10	1	1				
	世界の教育	1前		2		1						
	教育の歴史と現代	1前		2		1						
	子ども文化論	2前		2		1						
	学級経営論	2前		2		1						
	児童発達心理学	2前		2						兼	1	
	特別支援教育論	3前	2							兼	1	
	教育経営組織論	3前		2		1						
	教育情報管理論	3後		2						兼	1	
	学校アーカイブズ論	3前		2						兼	1	
	学校カウンセリング論	3後		2						兼	1	
学科専門科目 (教育創造科目)	日本語教育論Ⅰ	1後	2								兼	1
	環境教育論Ⅰ	1後		2		1						
	ボランティア学習論Ⅰ	1後		2		1						
	国際理解教育論Ⅰ	1後		2		1						
	日本語教育論Ⅱ	2前		2							兼	1
	環境教育論Ⅱ	2前		2		1						
	ボランティア学習論Ⅱ	2前		2							兼	1
	国際理解教育論Ⅱ	2前後		2		1						担当教員の都合により後期に変更(平成26年4月)
	市民性教育論	3後		2		1						
	参画型学習論	3前		2							兼	1
	学校地域家庭連携論	3後		2				1				
	生涯学習論	3後		2							兼	1
	発信技法Ⅰ(言語表現)	1後		2		1						
	発信技法Ⅱ(身体表現)	1後		2		1						
	発信技法Ⅲ(情報)	1後		2							兼	1
	自然体験実習	1通	2			2						
	子どもと発達	2通		2		4					兼	1
社会体験実習	3通	2			2							
レクリエーション演習	3前		2		1							
	教職概論	1後	2			1						
	教育基礎	1前	2			1						
	教育心理学	1前	2								兼	1
	教育制度	1後	2			1						
	初等教育課程論	1前	2			1						
	介護概論	2後		1							兼	1
	初等道徳教育指導法	3前		2		1						
	初等特別活動指導法	3後		2		1						
	初等教育方法・技術	3前後		2		1						担当教員の都合により後期に変更(平成27年4月)
	初等生徒指導	3前		2		1						
	教育相談	3後前		2							兼	1
	書道	3後		2							兼	1
												履修者増加に伴い1クラス追加(平成27年4月)

学科専門科目 (免許関連科目)	国語科概説	2前	2	1																	
	社会科概説	2前	2				1														
	算数科概説	2前	2	1																	
	理科概説	2前	2	1																	
	生活科概説	2前	2	1											兼	1					
	音楽科概説	2前	2	1																	
	図画工作科概説	2前	2												兼	1					
	家庭科概説	2前	2												兼	1					
	体育科概説	2前	2	1																	
	初等英語活動概説	2前	2												兼	1					
	初等国語科教育法	2後	2	1																	
	初等社会科教育法	2後	2							1											
	初等算数科教育法	2後	2	1																	
	初等理科教育法	2後	2												兼	2	担当者の本務校の都合により減員 (平成27年4月)				
	初等生活科教育法	2後	2	1											兼	1					
	初等音楽科教育法	2後	2	1																	
	初等図画工作科教育法	2後	2												兼	1					
	初等家庭科教育法	2後	2												兼	1					
	初等体育科教育法	2後	2	1																	
	初等英語活動指導法	2後	2												兼	1					
	初等教育実習Ⅰ	3通	1	7				1													
教職実践演習(小)	4後	2	2																		
初等教育実習Ⅱ	4通	2	7				1														
初等教育実習Ⅲ	4通	2	7				1														
選択科目 (文学部各学科共通科目)	文学部各学科共通科目	言語学概論	2・3・4通	4											兼	1	担当の兼任教員が長期研修のため、非常勤講師に変更(平成27年4月)				
		聖書研究	2・3・4通	4											兼	1					
		古典ギリシア語(初級)	1・2・3・4通	4											兼	2					
		上級古典語(ギリシア語)	2・3・4通	4											兼	1					
		古典ラテン語(初級)	1・2・3・4通	4											兼	1	担当の非常勤講師を変更(平成27年4月)				
		上級古典語(ラテン語)	2・3・4通	4											兼	1					
		ギリシア・ラテン文学特殊研究	2・3・4通	4											兼	1					
		漢語原書講読	2・3・4通	4											兼	1					
		現代学入門	1・2・3・4通	4		2	1	3							兼	9	担当教員の見直しにより担当を非常勤講師に変更(平成25年4月) 教員配置の見直しのためオムニバス形式の授業担当を変更及び追加(平成26年4月) 平成26年6月AC教員審査提出予定 平成26年8月教員審査済 担当の兼任教員が長期研修のため、オムニバス形式の授業担当を変更(平成27年4月)				
		現代マンガ学講義	2・3・4通	4											兼	1					
		マンガ・アニメーション芸術批評研究	2・3・4通	4											兼	1					
		舞台芸術文化論演習	2・3・4通	4											兼	1					
		舞台芸術文化論演習	2・3・4通	4											兼	1	担当の非常勤講師を変更(平成26年4月)				
		映像芸術批評研究	2・3・4通	4											兼	1	文学部各学科共通科目に新規に追加(平成26年4月)				
		映像芸術文化論演習	2・3・4通	4											兼	1	担当の兼任教員が長期研修のため、非常勤講師に変更(平成26年4月) 長期研修終了に伴い、兼任教員に変更(平成27年4月)				
		マンガ・アニメーション芸術文化論演習	2・3・4通	4											兼	1					
		身体表象文化論演習	2・3・4通	4											兼	1					
		表象文化制度論演習	2・3・4通	4											兼	1					
		表象文化制度論演習	2・3・4通	4											兼	1	担当の兼任教員を変更(平成27年4月)				
		国際文化学特殊研究	2・3・4通	4											兼	1	新規開講に伴い変更(平成27年4月)				
		国際文化学特殊研究	2・3・4通	4											兼	2	新規開講に伴い変更(平成27年4月)				

	哲学	1・2・3・4通	4						兼 3	担当の非常勤講師を変更（平成25年4月） 担当の非常勤講師を変更（平成26年4月） 担当の非常勤講師を変更（平成27年4月）
	美とロゴス	1・2・3・4通	4						兼 9 8	オムニバス形式の教員見直しにより担当教員を変更（平成25年4月） オムニバス形式の教員見直しにより担当教員を減員（平成26年4月） 担当の兼担教員が長期研修のため、オムニバス形式の授業担当を変更（平成27年4月）
	論理学	1・2・3・4通	4						兼 1	担当の非常勤講師を変更（平成25年4月）
	西洋倫理学史	1・2・3・4通	4						兼 1	担当の非常勤講師を変更（平成25年4月）
	東アジアと日本の倫理思想	1・2・3・4通	4						兼 4 2 3	2クラス開講により兼担教員を追加（平成25年4月） 担当の非常勤講師を1名追加（平成27年4月）
	現代思想	1・2・3・4通	4						兼 1	
	科学の考え方	1・2・3・4通	4						兼 2 1	担当教員の見直しにより変更（平成25年4月）
	思想史	1・2・3・4通	4						兼 1	
	応用倫理学	1・2・3・4通	4						兼 2 1	新規開講に伴い変更（平成26年4月） 教員配置の見直しにより非常勤講師を減員（平成27年4月）
	中国の思想と文化	1・2・3・4通	4						兼 2 1	新規開講に伴い変更（平成26年4月） 教員配置の見直しにより非常勤講師を減員（平成27年4月）
	言語と文化	1・2・3・4通	4						兼 4 2	担当の非常勤講師を変更（平成25年4月） 1クラス追加に伴い非常勤講師を追加（平成27年4月）
	比較文学	1・2・3・4通	4						兼 1	
	舞台・映像芸術	1・2・3・4通	4						兼 2 5 7 8	兼担教員・非常勤講師を追加（平成25年4月） 教員配置の見直しにより非常勤講師を追加（平成26年4月） 兼担教員の長期研修および教員配置の見直しにより担当教員の変更および追加（平成27年4月）
	芸術学	1・2・3・4通 休講	4						兼 1	担当の兼担教員が長期研修のため平成26年度休講（平成26年4月） 長期研修終了に伴い開講（平成27年4月）
	日本美術史	1・2・3・4通	4						兼 4 3	2クラス開講により非常勤講師を追加（平成25年4月） 教員配置の見直しにより担当教員を変更（平成27年4月）
	西洋美術史	1・2・3・4通	4						兼 1	
	音楽史	1・2・3・4通	4						兼 2	
	日本の伝統芸能	1・2・3・4通	4						兼 21 23 24 23	オムニバス形式の教員見直しにより変更（平成25年4月） オムニバス形式の教員配置の見直しにより非常勤講師を追加（平成26年4月） 1クラス追加、教員配置の見直しにより非常勤講師を減員（平成27年4月）
	法学	1・2・3・4通	4						兼 1	
	日本国憲法	1・2・3・4前後	2						兼 1	
	政治学	1・2・3・4通	4						兼 1	
	社会学	1・2・3・4通	4						兼 1	担当の非常勤講師を変更（平成25年4月）
	経済学	1・2・3・4通	4						兼 1	
	イスラム世界	1・2・3・4通	4						兼 1	
	ヨーロッパ世界	1・2・3・4通	4						兼 2	教員配置の見直しにより担当教員を変更（平成27年4月）
	東アジア世界	1・2・3・4通	4						兼 1	担当の非常勤講師を変更（平成26年4月）
	南アジア世界	1・2・3・4通	4						兼 1	新規開講に伴い変更（平成27年4月）

選択科目（総合基礎科目）

基礎
教養
科目

神話学講義	2・3・4通	4			兼 1	
歴史に見る日本	1・2・3・4通	4			兼 2	
歴史に見る世界	1・2・3・4通	4			兼 2	担当の非常勤講師を1名変更（平成26年4月）
宗教の現在	1・2・3・4通	4			兼 7 6	担当の非常勤講師を変更（平成25年4月） オムニバス形式の教員見直しにより担当教員の変更及び減員（平成27年4月）
現代科学	1・2・3・4通	4			兼 26 27 30 28	オムニバス形式の教員見直しにより変更（平成25年4月） オムニバス形式の教員見直しにより担当教員の変更及び追加（平成26年4月） オムニバス形式の教員見直しにより担当教員の変更及び減員（平成27年4月）
数学	1・2・3・4通	4			兼 1	担当の非常勤講師を変更（平成25年4月）
歴史の中の数学	1・2・3・4通	4			兼 1	担当の非常勤講師を変更（平成25年4月）
現代社会と数学	1・2・3・4前	2			兼 1	
社会の中の数学	1・2・3・4後	2			兼 1	
時間・空間・物質の科学	1・2・3・4通	4			兼 1	
環境・エネルギーの化学	1・2・3・4通	4			兼 1	
生物学	1・2・3・4	4			兼 1	担当教員の見直しにより変更（平成25年4月）
生物学1	3・4	2			兼 2	担当教員の見直しにより非常勤講師1名を変更（平成26年4月）
生物学2	通前後	2				クラスを前後期に分割（平成27年4月）
心理学	1・2・3・4通	4			兼 5 -4 5	オムニバス形式の教員見直しにより変更（平成25年4月） オムニバス形式の教員見直しにより非常勤講師1名を変更（平成26年4月） 教員配置の見直しにより非常勤講師1名を増員（平成27年4月）
スポーツと健康を考える	1・2・3・4通	4			兼 -4 3	担当教員の見直しにより兼任教員を減員（平成26年4月）
スポーツ科学演習	1・2・3・4通	4	1			
生命論	1・2・3・4通	4			兼 2	
エコロジー（環境問題と経済社会）	1・2・3・4後	4			兼 5 6	オムニバス形式の教員見直しにより変更（平成25年4月） この分野で扱う範囲が広範囲になってきたこと、担当者の一部が講義を継続出来なくなったことに伴い科目を廃止（平成27年4月）
エコロジー（環境問題の基礎）	1・2・3・4前	2			兼 1	新規開講に伴い変更（平成27年4月）
エコロジー・環境論1	1・2・3・4前	2			兼 8	オムニバス形式の教員見直しにより変更（平成27年4月）
エコロジー・環境論2	1・2・3・4後	2			兼 6 7	オムニバス形式の教員見直しにより変更（平成25年4月）
福祉	1・2・3・4通	4			兼 12 11 13 12	オムニバス形式の教員見直しにより変更（平成25年4月） 1クラス追加（平成26年4月） オムニバス形式の教員見直しにより担当教員を追加（平成26年4月） オムニバス形式の教員見直しにより担当教員を減員（平成27年4月）
ボランティア論	1・2・3・4通	4	2		兼 7	オムニバス形式の教員見直しにより変更（平成25年4月） オムニバス形式の教員見直しにより兼任教員を1名変更（平成26年4月）
情報処理と現代社会	1・2・3・4通	4			兼 4	授業科目の内容が社会の変化に対応しなくなったため、科目を廃止（平成25年4月）
ジェンダーと文化	1・2・3・4通	4			兼 1	

		記録保存と現代	1・2・3・4通	4						兼 18 兼 19 兼 20	オムニバス形式の教員見直しにより変更（平成25年4月） オムニバス形式の教員見直しにより担当教員を変更及び追加（平成26年4月） オムニバス形式の教員見直しにより担当教員を変更及び追加（平成27年4月）
		記録管理と組織	1・2・3・4後	2						兼 4	兼担教員の長期研修に伴い、担当教員1名を変更（平成26年4月） 兼担教員の長期研修終了及び教員配置の見直しにより担当教員を変更（平成27年4月）
		生活と法	1・2・3・4前	2						兼 1	担当の非常勤講師を変更（平成26年4月）
		アジアを学ぶ	1・2・3・4前	4 2		3				兼 20 兼 6 兼 2	オムニバス形式の教員見直しにより変更（平成25年4月） 教員配置の見直しにより担当教員を減員（平成26年4月） 教員配置の見直しにより担当教員を変更（平成27年4月）
		日本語表現法	1・2・3・4前後	2						兼 3 兼 5 兼 4	8クラス開講のため非常勤講師を追加（平成25年4月） 担当の非常勤講師を変更（平成26年4月） 担当の非常勤講師を変更及び減員（平成27年4月）
		キャリア・デザイン概論	1・2・3・4前後	2						兼 2	担当の非常勤講師を変更（平成27年4月）
		アカデミック・スキルズ（個別指導重視型）	1・2・3・4前	2						兼 1	個別指導型を中心に、個別指導型・講義型2つのクラスを集約（平成27年4月）
		アカデミック・スキルズ（講義型）	1・2・3・4前	2						兼 1	
		英語で学ぶ日本事情－文化・社会・科学	1・2・3・4後	2						兼 7	新規開講に伴い変更（平成26年4月） 教員配置の見直しにより担当教員を変更（平成27年4月）
		海外語学研修	1・2・3・4前	2						兼 1	新規開講に伴い変更（平成26年4月） 教員配置の見直しにより担当教員を変更（平成27年4月）
		海外フィールド研修（欧州・日本研究）	1・2・3・4通	2						兼 2	新規開講に伴い変更（平成27年4月）
		海外フィールド研究（東アジア研究）	1・2・3・4通	2						兼 1	新規開講に伴い変更（平成27年4月）
		近代日本と学習院	1・2・3・4通	4						兼 1 兼 2	兼担教員を1名追加（平成25年4月）
必修科目（総合基礎科目）	外国語科目Ⅰ	英語R（中級）	1・2通	2						兼 2	担当の兼担教員を非常勤講師へ変更（平成25年4月） 教員配置の見直しにより、担当教員を変更（平成26年4月） 教員配置の見直しにより担当教員を変更（平成27年4月）
		英語C（中級）	1・2通	2						兼 3 兼 2	担当を非常勤講師に変更（平成25年4月） 担当の非常勤講師を1名変更（平成26年4月）
		英語R（上級）	1・2通	2						兼 3 兼 2	担当を非常勤講師2名に変更（平成26年4月）
		英語C（上級）	1・2通	2						兼 3 兼 2	担当を非常勤講師2名に変更（平成26年4月）
	スポーツ・健康科学Ⅰ	1通	2			1				兼 5	
選択科目（総合基礎科目Ⅱ）	外国語科目Ⅱ	中国語B（初級）	1・2通	2						兼 2 兼 1	担当を非常勤講師に変更（平成25年4月）
		中国語C（初級）	1・2通	2						兼 2 兼 1	担当を非常勤講師に変更（平成25年4月）
		朝鮮語B（初級）	1・2通	2						兼 2 兼 1	担当を非常勤講師に変更（平成25年4月）
		朝鮮語C（初級）	1・2通	2						兼 2 兼 1	担当を非常勤講師に変更（平成25年4月）

基礎科目	スポーツ・健康科学Ⅱ	1・2・3・4通	2							兼 2 3 2	担当の兼任教員を追加（平成26年4月） 担当の兼任教員を減員（平成27年4月）
	初等情報処理 1	1・2・3・4期	2							兼 2 1	担当の兼任教員を変更（平成25年4月）
	初等情報処理 2	1・2・3・4後	2							兼 2 1	担当の兼任教員を変更（平成25年4月）

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合は、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
18	137	0	155	18	+36 -140 -146	0	+54 -158 -164	
				[]	[Δ+ 3 9]	[]	[Δ+ 3 9]	

- (注)
- ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	芸術学	-4-	1・2・3・4通	一般	選択	授業担当者が長期研修の為。代替措置なし。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	情報処理と現代社会	4	1・2・3・4通	一般	選択	授業科目の内容と担当者とは、社会の変化に対応しなくなってきたため廃止した。その代替措置として、平成24年度より基礎教養科目の「キャリアデザイン概論」のクラス数を増やしている。
2	エコロジー（環境問題と経済社会）	4	1・2・3・4後	一般	選択	平成20年度より経済学科が文学部から引き継ぐ形で開講してきたが、この分野で扱う範囲が広範になってきたこと、担当者の一部が講義を継続出来なくなったことに伴い廃止した。その代替措置として、平成27年度より基礎教養科目として「エコロジー（環境問題の基礎）」を新たに開講した。
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「情報処理と現代社会」の平成24年度の履修者は10数名と少なく、廃止の影響は大きくないと考えられる。学生には学内掲示板への掲示による周知を行った。（平成25年4月）

「芸術学」の平成26年度休講については、基礎教養科目運営委員会で審議の上、決定された。学生へは履修ガイダンスにて周知した。（平成26年4月）

「エコロジー（環境問題と経済社会）」（4単位科目）は閉講したが、その一部を扱う「エコロジー（環境問題の基礎）」（2単位科目）を平成27年度に開講、平成28年度からはさらに具体的なテーマを扱う科目（2単位科目）を開講することから、閉講の影響はないと考えられる。（平成27年4月）

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.00
設置時の計画の授業科目数の計		0.01

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	空地見直しに伴う校舎敷地及びその他の数値修正による変更、小数点第2位まで面積表記変更(27)			
	校舎敷地	77,046.05 35,012 34,298 34,055㎡	3,321.53 3,322 3,302㎡	10,553.23 10,553 10,212㎡	90,920.81 48,887 47,812 47,569㎡				
	運動場用地	2,176.00 21,716 21,726㎡	17,588.00 17,588㎡	10,263.00 10,263㎡	49,567.00 49,567 49,577㎡				
	小 計	98,762.05 56,728 56,014 55,781㎡	20,909.53 20,910 20,890㎡	20,816.23 20,816 20,475㎡	140,487.81 98,454 97,379 97,146㎡				
	そ の 他	55,628.93 97,622 98,767 99,000㎡	0㎡	8,411.77 8,412 8,753㎡	64,040.70 106,075 107,520 107,753㎡				
	合 計	154,390.98 154,390 154,781㎡	20,909.53 20,910 20,890㎡	29,228.00㎡	204,528.51 204,529 204,899㎡				
(2) 校舎	専 用	93,818.75 94,066 94,467 94,252㎡	0㎡	0㎡	93,818.75 94,066 94,467 94,252㎡	附置研究所エリア拡充に伴う校舎面積の減少、小数点第2位まで面積表記変更(27)			
	(93,818.75 94,066 94,467 94,252㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(93,818.75 94,066 94,467 94,252㎡)					
(3) 教室等	講義室	92室 93室 88室 81室	演習室 40室 49室 50室 45室	実験実習室 104室 105室 100室	情報処理学習施設 12室 11室 (補助職員 一人)	語学学習施設 6室 (補助職員 一人)	大学全体改修及び仕様変更による変更(27)		
	新設学部等の名称		室 数						
(4) 専任教員研究室		文学部 教育学科		12 11 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	平成26年度に機械・器具21点を取得をしたため、完成年度の予定数値(上段)・平成27年5月1日現在の数値(下段)共に、修正する。(27) 下段及び下記の数値を平成2526年度計に修正(26)。(27) 大学全体での共用図書・大学図書館 481,100冊(27) 474,986冊(26) 468,881冊 ・教職課程 13,537冊(27) 13,413冊(26) 13,350冊	
	文学部 教育学科	4,750 [300] (6,263 [544]) (3,506 [151]) (-759 [55]) (-750 [50])	21 [4] (21 [4])	3 [3] (3 [3])	28 20 (28) (20)	439 418 (439) (418)	0 (0)		
	計	4,750 [300] (6,263 [544]) (3,506 [151]) (-759 [55]) (-750 [50])	21 [4] (21 [4])	3 [3] (3 [3])	28 20 (28) (20)	439 418 (439) (418)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		小数点第2位まで面積表記変更(27)			
	12,105.84 12,106 14,367㎡	1,646 1,582		1,888,675					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				小数点第2位まで面積表記変更(27)			
	2,060.93 2,061 2,110㎡	卓球場、柔剣道場、トレーニングセンター		1,908.54 1,909 1,915㎡					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度は実績額、開設年度・完成年度の図書購入費については、平成25年度予算額を記入した。(26) 図書購入費および設備購入費については、経常経費分を含んでいたため、設置経費分のみを計上した。(27)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	2,865 2,998 2,865千円	0 10,910 0千円	0 10,910 0千円	
	共同研究費等	200千円	780千円	設備購入費	67,261 76,911 67,261千円	3,918千円	0千円		
	学生1人当り納付金	第1年次 1,300千円	第2年次 1,100千円	第3年次 1,100千円	第4年次 1,100千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	学習院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員 定	取 定 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
法務研究科法務専攻 専門職学位課程	3	30	-	120	法務博士（専門職）	0.53	H16年度		
法学研究科法律学専攻 博士後期課程	3	3	-	9	博士（法学）	0.11	S61年度		
政治学研究科政治学専攻 博士前期課程	2	15	-	30	修士（政治学）	0.43	S54年度		
博士後期課程	3	5	-	15	博士（政治学）	0.06	S56年度		
経済学研究科経済学専攻 博士前期課程	2	10	-	20	修士（経済学）	0.40	S54年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士（経済学）	0.00	H2年度		
経営学研究科経営学専攻 博士前期課程	2	10	-	20	修士（経営学）	0.40	S53年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士（経営学）	0.44	S61年度		
人文科学研究科哲学専攻 博士前期課程	2	10	-	20	修士（哲学）	0.70	S28年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士（哲学）	0.00	S40年度		
人文科学研究科美術史学専攻 博士前期課程	2	10	-	20	修士（美術史学）	0.65	H20年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士（美術史学）	1.55	H20年度		
人文科学研究科史学専攻 博士前期課程	2	15	-	30	修士（史学）	0.79	S40年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士（史学）	1.00	S40年度		
人文科学研究科日本語日本文学専攻 博士前期課程	2	20	-	40	修士（日本語日本文学）	0.92	S28年度		
博士後期課程	3	3	-	9	博士（日本語日本文学）	1.00	S40年度		
人文科学研究科英語英米文学専攻 博士前期課程	2	10	-	20	修士（英語英米文学）	0.45	S32年度		

	博士後期課程	3	3	-	9	博士（英語英米文学）	0.66	S40年度	
人文科学研究科ドイツ語ドイツ文学専攻	博士前期課程	2	5	-	10	修士（ドイツ語ドイツ文学）	0.60	S32年度	東京都豊島区 目白一丁目5番 1号
	博士後期課程	3	2	-	6	博士（ドイツ語ドイツ文学）	0.16	S40年度	
人文科学研究科フランス文学専攻	博士前期課程	2	5	-	10	修士（フランス文学）	0.60	S32年度	
	博士後期課程	3	2	-	6	博士（フランス文学）	0.00	S40年度	
人文科学研究科心理学専攻	博士前期課程	2	6	-	12	修士（心理学）	0.16	S55年度	
	博士後期課程	3	2	-	6	博士（心理学）	1.83	S57年度	
人文科学研究科臨床心理学専攻	博士前期課程	2	12	-	24	修士（臨床心理学）	1.12	H21年度	
	博士後期課程	3	3	-	9	博士（臨床心理学）	2.00	H27年度	
人文科学研究科教育学専攻	博士前期課程	2	20	-	40	修士（教育学）	0.35	H27年度	
	博士後期課程	3	5	-	15	博士（教育学）	1.00	H27年度	
人文科学研究科アーカイブズ学専攻	博士前期課程	2	15	-	30	修士（アーカイブズ学）	0.46	H20年度	
	博士後期課程	3	3	-	9	博士（アーカイブズ学）	0.66	H20年度	
人文科学研究科身体表象文化学専攻	博士前期課程	2	10	-	20	修士（表象文化学）	0.60	H20年度	
	博士後期課程	3	3	-	9	博士（表象文化学）	0.55	H20年度	
自然科学研究科物理学専攻	博士前期課程	2	15	-	30	修士（理学）	1.09	S28年度	
	博士後期課程	3	3	-	9	博士（理学）	0.22	S36年度	
自然科学研究科化学専攻	博士前期課程	2	15	-	30	修士（理学）	0.99	S28年度	
	博士後期課程	3	3	-	9	博士（理学）	0.11	S36年度	
自然科学研究科数学専攻	博士前期課程	2	6	-	12	修士（理学）	0.83	S42年度	
	博士後期課程	3	3	-	9	博士（理学）	0.44	S44年度	
自然科学研究科生命科学専攻	博士前期課程	2	15	-	30	修士（理学）	0.39	H20年度	
	博士後期課程	3	3	-	9	博士（理学）	0.55	H20年度	

大学の名称	学習院大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
法学部						1.03			
法学科	4	250	-	1,000	学士（法学）	1.03	S39年度	東京都豊島区 目白一丁目5番 1号	
政治学科	4	230	-	920	学士（政治学）	1.04	S24年度		
経済学部						1.11			
経済学科	4	250	-	1,000	学士（経済学）	1.11	S27年度		
経営学科	4	250	-	1,000	学士（経営学）	1.12	S49年度		
文学部						1.04			
哲学科	4	95	-	380	学士（哲学）	1.08	S24年度		
史学科	4	85	-	340	学士（史学）	1.05	S36年度		
日本語日本文学科	4	110	-	440	学士（日本語日本文学）	1.02	S32年度		
英語英米文化学科	4	115	-	460	学士（英語英米文化学）	1.05	S32年度		
ドイツ語圏文化学科	4	50	-	200	学士（ドイツ語圏文化学）	1.05	S32年度		
フランス語圏文化学科	4	80	-	320	学士（フランス語圏文化学）	1.01	S32年度		
心理学科	4	90	-	360	学士（心理学）	1.08	S50年度		
教育学科	4	50	-	200	学士（教育学）	0.99	H25年度		
理学部						1.08			
物理学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.13	S24年度		
化学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.07	S24年度		
数学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.00	S38年度		
生命科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.15	H21年度		
大学の名称	学習院女子大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
国際文化交流研究科国際文化交流専攻 修士課程	2	10	-	20	修士（国際文化交流）	0.90	H16年度	東京都新宿区 戸山三丁目20番 1号	
大学の名称	学習院女子大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
国際文化交流学部						1.14			
日本文化学科	4	140	5（3年次）	570	学士（日本文化）	1.15	H10年度	東京都新宿区 戸山三丁目20番 1号	
国際コミュニケーション学科	4	170	5（3年次）	690	学士（国際コミュニケーション）	1.16	H10年度		
英語コミュニケーション学科	4	45	-	180	学士（英語コミュニケーション）	1.06	H18年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「平均定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学，短期大学においては学科単位（短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位），大学院においては専攻単位で記入してください。

「5 教員組織の状況」は、個人情報を含む内容のため、掲載していません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<文学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD活動を推進する全学的な組織として、「FD推進委員会」が設置されている。学部学生を対象に、授業評価アンケート実施及びその報告書を作成し、教員の資質向上に資している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD推進委員会は、毎年度3回開催している。教育学科を含む文学部および各学部の教員、外国語教育研究センター、計算機センター、スポーツ・健康科学センター、教職課程の教員が参加している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD推進委員会では、授業評価アンケートの実施に関するガイドライン、授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン、授業評価アンケート実施報告、授業評価アンケート報告書作成、授業評価アンケート質問項目、授業評価アンケート集計結果フォーマットなどに関して審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 「授業評価アンケートの実施」：学部学生授業を対象として、授業評価アンケートを実施している。教育学科においても、平成25年度及び平成26年度に前期と後期に各1回実施した。全授業で評価がなされ、5点満点の平均で4.1から4.5の評価を受ける等の成果を出している。また、教育学科では専任教員を中心に授業研究を行い、さらに授業の状況を確認するための意見交換・情報交換を教員間で積極的に行っている。 「教育学科内での研修体制の充実」：教育学科では、各専任教員の授業の内容と方法そして学生の受講状況について、報告会を3回にわたり実施した。活発な意見交換が行われ、授業の充実に向けて実践的な取り組みがなされている。また、学科会議では、学生の受講態度を含めた勉学状況について、毎回情報と意見の交換を行っている。</p> <p>b 実施方法 FD推進委員会主催の授業評価アンケートは、学部学生のほぼすべての授業を対象にしている。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） FD推進委員会主催の授業評価アンケートは、毎年度2回（前期1回、後期1回）行っている。アンケート対象科目は全科目に及び、ほぼ全員の教員が参加している。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 毎年度（3月）に、FD推進委員会より科目別集計結果が授業担当教員宛に送付され、次年度以降の授業改善に活用されている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 全学で実施している授業評価アンケート（各学期に1回、7月と12月の年2回）を、教育学科の全科目にわたって行った。</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等 「授業評価アンケート」については、その集計結果のみならず、その結果に基づいて各教員から提出された「授業改善への取り組み」についても記載した「授業評価アンケート報告書」を毎年度作成し、PDF形式にて大学のホームページにも開示しており、学生・教員のみならず一般からの閲覧が可能な状態になっている。</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成25年4月に開設し教育を開始した。この2年間の授業活動について、教育学科の教育理念として掲げている教育および社会に関する幅広い知見と教育に関する専門的な技能を獲得させ、発達の多様な可能性を探求・研究することという目標に照らして、すべての授業科目を円滑に実施することができた。そのことは、学生への授業評価アンケートにおいても、全授業で評価がなされ、5点満点の平均で4.1から4.5の評価を受ける等の成果としてもあらわれている。教育学科の専門科目、専任教員等に関しては申請時と同様であり正しく履行されている。順調に教育学科が開設され、学科設置の趣旨・目的に合わせて研究・教育活動が行われていると評価している。また、一般入試の志願者は826名、726名、649名で、それぞれ10倍以上の高倍率となり、この面でも一定の社会的評価を受けたと判断している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学は公益財団法人大学基準協会を認証評価機関として選定、2008年（平成20年）度の大学評価にあわせて自己点検・評価を実施し、その結果を2007年（平成19年）度自己点検評価報告書として取りまとめ、本学ホームページで公表している。また、本学科は平成25年度に設置されたので、次回の大学評価にあわせて文学部全体の中で自己点検・評価を実施する予定であり、次回の大学評価の申請時期は平成27年度を予定している。大学評価に関わる自己点検・評価は、大学評価の申請前年の平成26年度に実施した。これに基づく自己点検評価報告書（大学全体）については、平成28年度に公表する予定である。

b 公表方法

2007年（平成19年）度の自己点検・評価報告書は冊子として刊行と同時に本学ホームページで公表しているため、次回の自己点検・評価も同様の方法で公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

本学は公益財団法人大学基準協会を認証評価機関として選定、2008年（平成20年）度の大学評価にあわせて自己点検・評価を実施し、その結果を2007年（平成19年）度自己点検評価報告書として取りまとめている。本学科は平成25年度に設置されているため、次回の大学評価にあわせて文学部全体の中で自己点検・評価を実施する予定であり、次回の大学評価の申請時期は平成27年度を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2015年 7月)